

## 事例研究報告

特別支援学校小学部児童に対する  
カタカナが書けるようになるための  
指導

# 児童の実態

- ・ 自閉症スペクトラム
- ・ 発達年齢：5歳4ヶ月
- ・ 言葉でコミュニケーションができる。
- ・ 文字のスケジュールで行動することができる。
- ・ 書き順は違うが、平仮名は書くことができる。

## 保護者の願い

カタカナ・平仮名の読み書きが確実にできるようになってほしい。

## 教員の願い

- ・カタカナが書けるようになって欲しい。
- ・読んでもらえる字が書けるようになってほしい。

# アセスメント I

○音声で聞いてカタカナで1文字のみ書く。

日付	10月1日	10月3日	10月4日
判読できた文字	11/20	8/20	8/20

○判読, または書けなかった文字

メ・ト・ソ・ヤ・エ・サ・ホ・ミ・ナ・ヨ  
ヌ・モ・ユ・ル・ワ・ツ ・シ・ネ・ノ

アセスメント I の結果

カタカナ表 46文字のうち 27字判読できる。

# アセスメントⅡ

○単語を音声で聞いて，カタカナで書く。

日付	10月4日	10月8日	10月9日	10月10日
判読 できた 文字	18 / 42 (単語数12, 総文字数42)	15 / 41 (単語数12, 総文字数41)	15 / 41 (単語数8, 総文字数41)	18 / 29 (単語数8, 総文字数29)

○判読または書けなかった文字

メ・ボ・「ト」鏡文字・モ・ラ・マ・ヒ・カ・ユ  
ミ・ツ・ロ・ボ・ノ・ギ・リ・ン・チ  
ヨ・コ・ケ・キ・ヤ・ニ・ク・メ

アセスメントⅡの結果

カタカナ表46文字のうち26文字判読できる

## アドバイザーからの助言①



- 聞く力が得意なので、言葉のプロンプトを行う（例 「ト」の棒は右）。
- パズルで1画ずつ構成する練習をする。
- 文字の形の違いを覚えられるようにする。

## 指導目標①

カタカナで「ナ」「メ」「ツ」「シ」の4文字を書くことができる。

## 手続き

ワークシートを用いる。

## 達成基準

全ステップで2回連続書くことができたなら達成とする。

ステップⅠ：1画ずつのパズルで文字を構成することができる。

文字の見本ありのプリントを使用する。

ステップⅡ：なぞり書き。

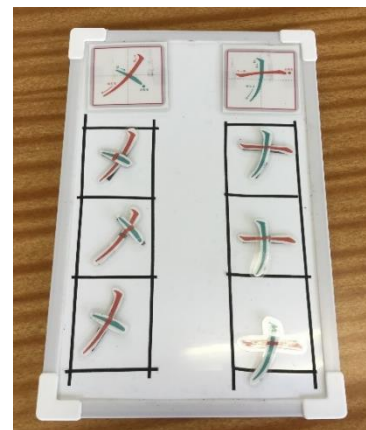
ステップⅢ：始点と終点あり。

ステップⅣ：始点あり。

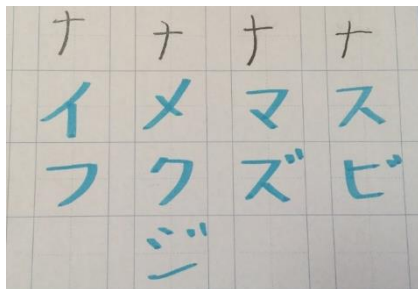
ステップⅤ：始点なし。

文字の見本なしのプリントを使用する。

ステップⅥ：単語の中で書くことができる。



ステップⅠ：パズル



ステップⅥ：単語の中で書くことができる。

結果  
指導①「ナ」

ステップⅠ：1画ずつのパズルで文字を構成することができる。  
文字の見本ありのプリントを使用する。

ステップⅡ：なぞり書き。

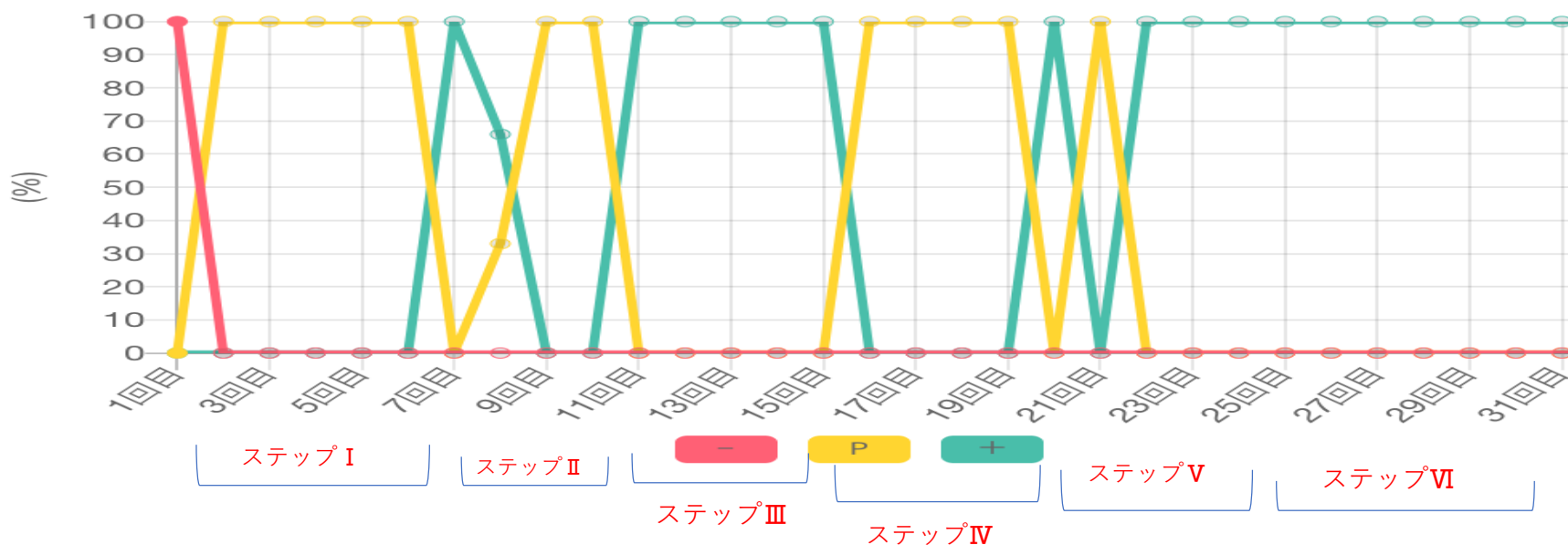
ステップⅢ：始点と終点あり。

ステップⅣ：始点あり。

ステップⅤ：始点なし。

文字の見本なしのプリントを使用する。

ステップⅥ：単語の中で書くことができる。



ステップⅠ～ステップⅤ

達成



# 結果 指導①「メ」

ステップⅠ：1画ずつのパズルで文字を構成することができる。  
文字の見本ありのプリントを使用する。

ステップⅡ：なぞり書き。

ステップⅢ：始点と終点あり。

ステップⅣ：始点あり。

ステップⅤ：始点なし。

文字の見本なしのプリントを使用する。

ステップⅥ：単語の中で書くことができる。



ステップⅠ～ステップⅤ 達成      ステップⅥ 中止

# 結果 指導①「ツ」

ステップⅠ：1画ずつのパズルで文字を構成することができる。  
文字の見本ありのプリントを使用する。

ステップⅡ：なぞり書き。

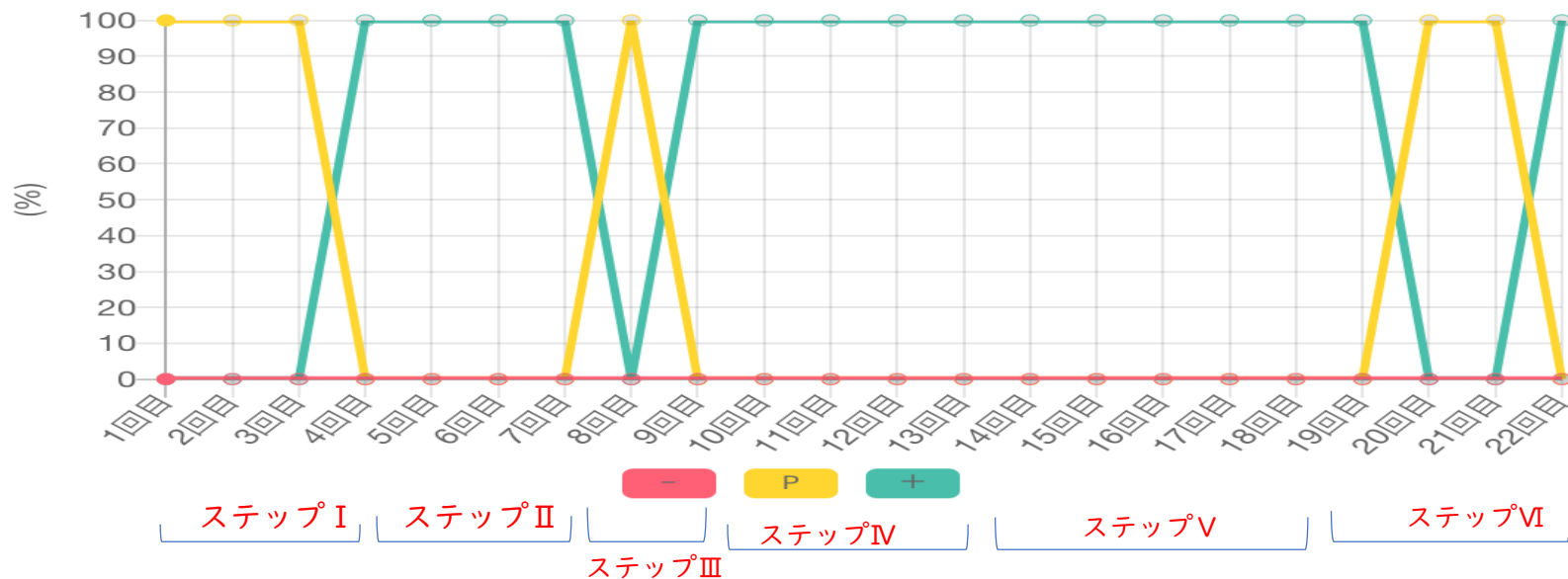
ステップⅢ：始点と終点あり。

ステップⅣ：始点あり。

ステップⅤ：始点なし。

文字の見本なしのプリントを使用する。

ステップⅥ：単語の中で書くことができる。



ステップⅠ～ステップⅤ 達成

ステップⅥ 中止

# 結果 指導①「シ」

ステップⅠ：1画ずつのパズルで文字を構成することができる。  
文字の見本ありのプリントを使用する。

ステップⅡ：なぞり書き。

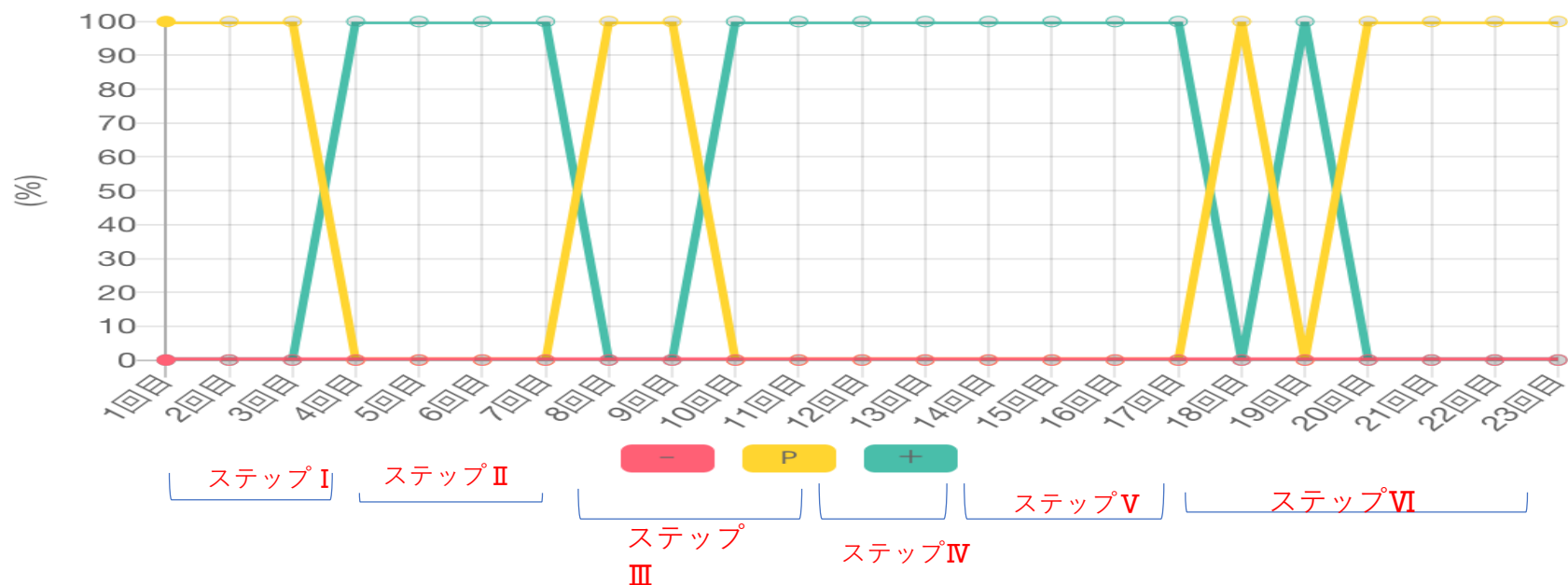
ステップⅢ：始点と終点あり。

ステップⅣ：始点あり。

ステップⅤ：始点なし。

文字の見本なしのプリントを使用する。

ステップⅥ：単語の中で書くことができる。



ステップⅠ～ステップⅤ

達成

ステップⅥ

中止

## アドバイザーからの助言②



- ステップ内の手続きをスモールステップに変更する。
- 一つずつヒントを減らす。
  - 始点がそろそろ線を消す。
  - 始点を消す。
  - 文字プロンプトを消す。
- 音声（「ななめ ちよんのメ書いて）だけで書けるようにする。
- 音声のみのプロンプトを残すようにする。
- わかりやすい文字の見本にする（教科書の文字の形ではなく）。

## 指導目標②

### 手続き

### 達成基準

カタカナで「メ」「ツ」「シ」の3文字を書くことができる。

ワークシートを用いる。

全ステップで2回連続書くことができたなら達成とする。

文字見本・文字プロンプト・言葉のプロンプトあり

ステップ①：ラインありでなぞる。

ステップ②：ラインなしでなぞる。

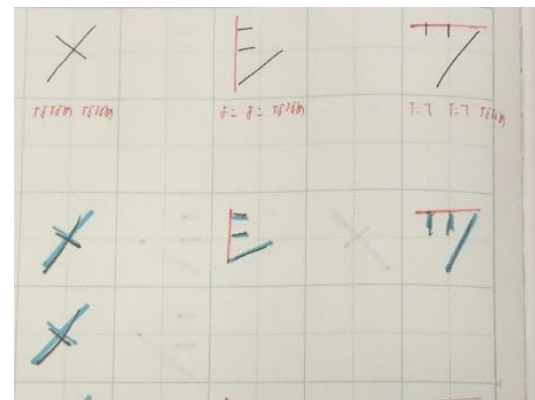
ステップ③：始点のみで書く。

ステップ④：始点なしで書く。

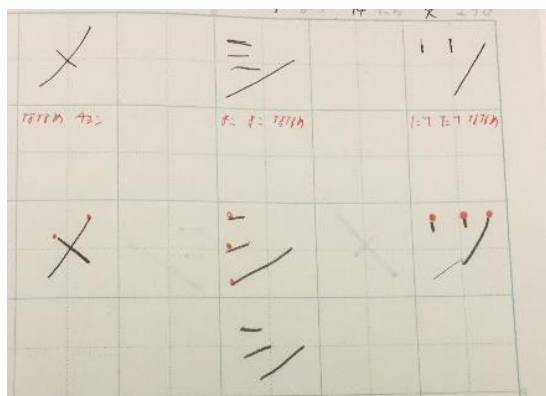
文字見本・文字プロンプトなし。言葉のプロンプトあり

ステップ⑤：始点のみ。

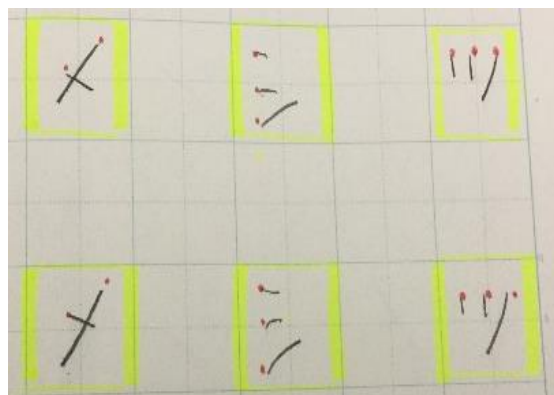
ステップ⑥：始点なし。



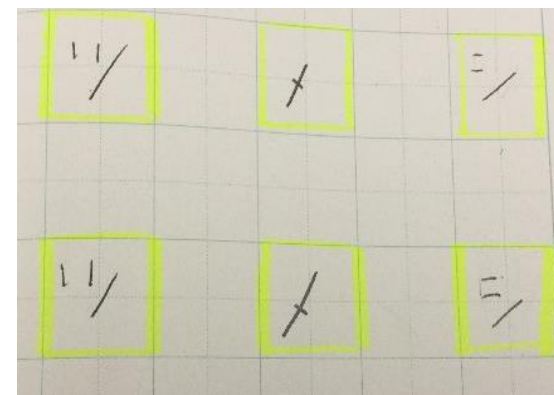
ステップ①：ラインあり



ステップ③：始点のみ



ステップ⑤：始点のみ。



ステップ⑥：始点なし。

# 結果 指導② 「ツ」「メ」

文字見本・文字プロンプト・言葉のプロンプトあり

ステップ①：ラインありでなぞる。

ステップ②：ラインなしでなぞる。

ステップ③：始点のみで書く。

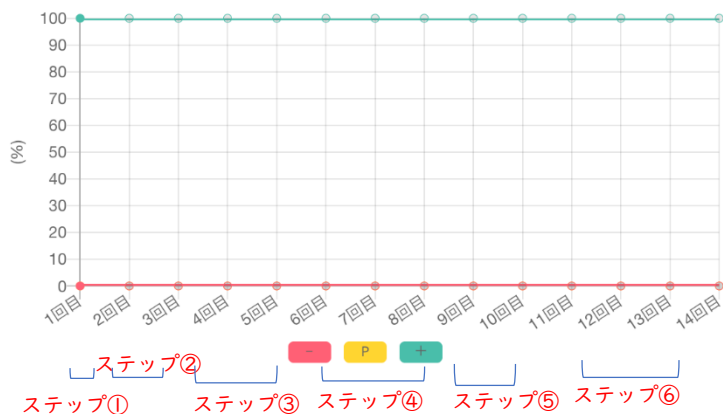
ステップ④：始点なしで書く。

文字見本・文字プロンプトなし。言葉のプロンプトあり

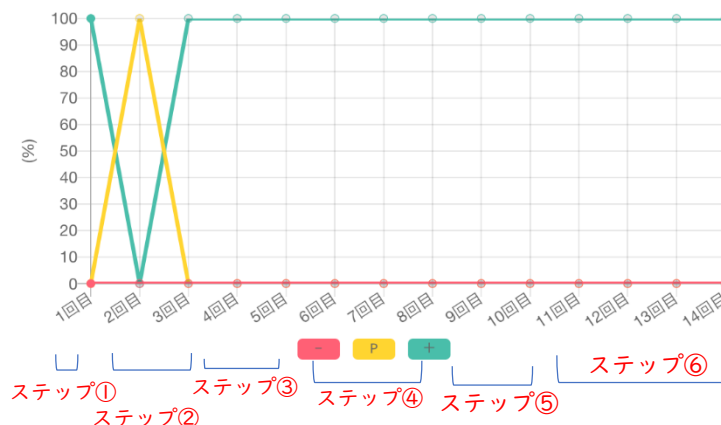
ステップ⑤：始点のみ。

ステップ⑥：始点なし。

カタカナで「ツ」を書くことができる。

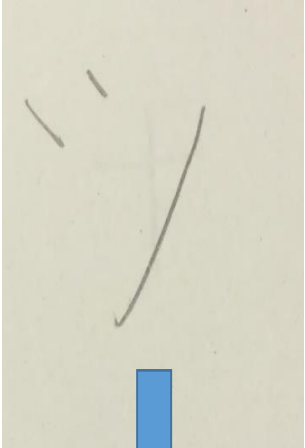
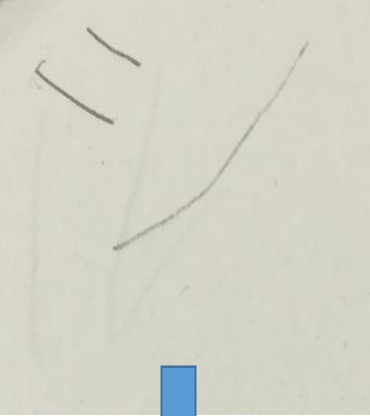
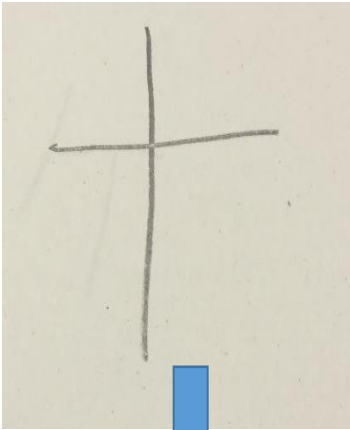
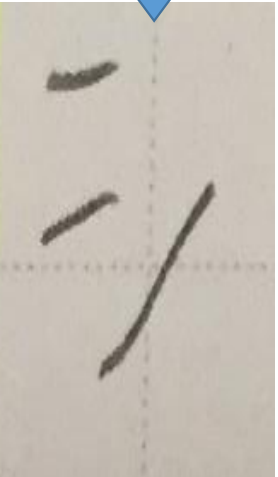
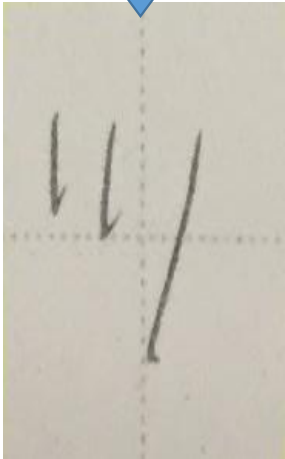
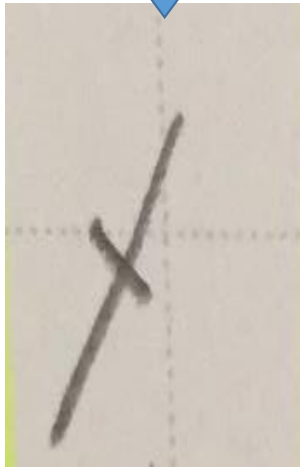
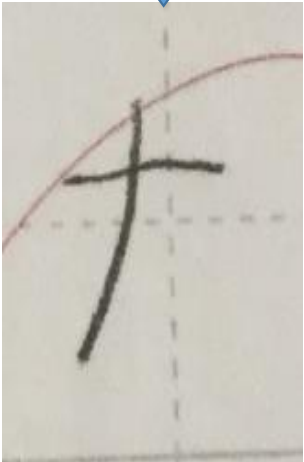


カタカナで「メ」を書くことができる。



「ツ」「シ」「メ」ステップ①～ステップ⑥ 達成

# こんなに書けるようになりました！！

	「シ」	「ツ」	「メ」	「ナ」
指導前				想起できない
指導後				

## 指導の成果

- 文字を4つに絞って学習することや繰り返し学習することで「もう、覚えちゃった」「書き方がわかった」という発言が増え、自信を持って課題に取り組めるようになった。
- 平仮名を片仮名に書き直す課題でも、「ナ」「メ」「ツ」「シ」が判読できる文字が書け、他のカタカナも自信を持って書けるようになってきた。